

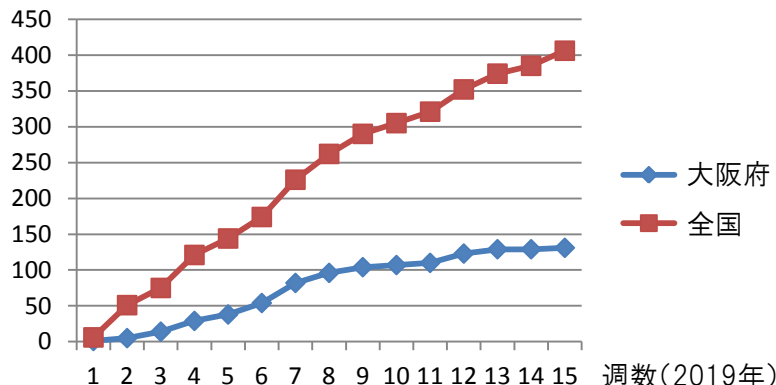
新・こどもと健康

No.28

2019.5.2

麻疹のその後

患者数(人)



麻疹は2019年第1週から第15週(4月8～14日)をみると、全国では増え続けており、累計406例です。大阪府ではブレーキがかかってきていて、累計131例です。131例は都道府県別でまだ断トツ一位です。

4月8～14日の1週間においては、全国で麻疹は21例報告され、うち6例がお隣の兵庫県でした。

今後も油断できません。

出典：国立感染症研究所HP『感染症発生動向調査(IDWR)麻疹2019年4月17日現在』、
大阪府感染症情報センターHP『麻しん情報2019年4月25日更新分』

ニューヨーク市でもはしか流行、非常事態宣言

アメリカニューヨーク市で昨年10月以降の麻疹感染者数が285人に上り、デブラシオ市長は4月9日、公衆衛生の非常事態を宣言し、特に感染者が多く発生しているブルックリン区ウィリアムズバーグ地区に在住、もしくは通勤、通学していて麻しんの予防接種を受けていない全ての人に予防接種を受けるよう命じました。従わない場合は罰金1000ドルが科されます。アメリカは2000年に麻しんを根絶したとしていましたが、近年では予防接種の接種率が低下していたとあります。

出典：ニューヨーク日本国総領事館HP『ニューヨーク市における麻しん(はしか)の流行について』
Newsweek日本語版HP『NY市、はしか流行で非常事態へ 予防接種を義務化し違反は罰金1000ドル』

インフルエンザに再流行の兆しがあります

4月1～7日に大阪府で285例、堺市で26例、4月8～14日に大阪府で328例、堺市で17例、4月15～21日に大阪府で644例、堺市で42例と再度増加してきています。都道府県別では4月15～21日の期間で定点当たり秋田県(6.28)、山形県(5.50)、福島県(5.45)、鳥取県(4.03)、沖縄県(3.78)、石川県(3.60)、群馬県(3.57)、長野県(3.55)などでした。大阪府は同2.14でした。

出典：国立感染症研究所 感染症情報センターHP『インフルエンザ流行レベルマップ2019年4月24日現在』

「昭和37年4月2日から昭和54年4月1生まれの男性」に対し、『風しんの第5期定期接種』が開始されています。クーポン券を使用の場合の流れを次ページにフローチャートでお示しします。

堺市在住の方が堺市内で受診の場合は『新・こどもと健康No.27』をご覧ください。

GW中の診療日は以下の通りです。

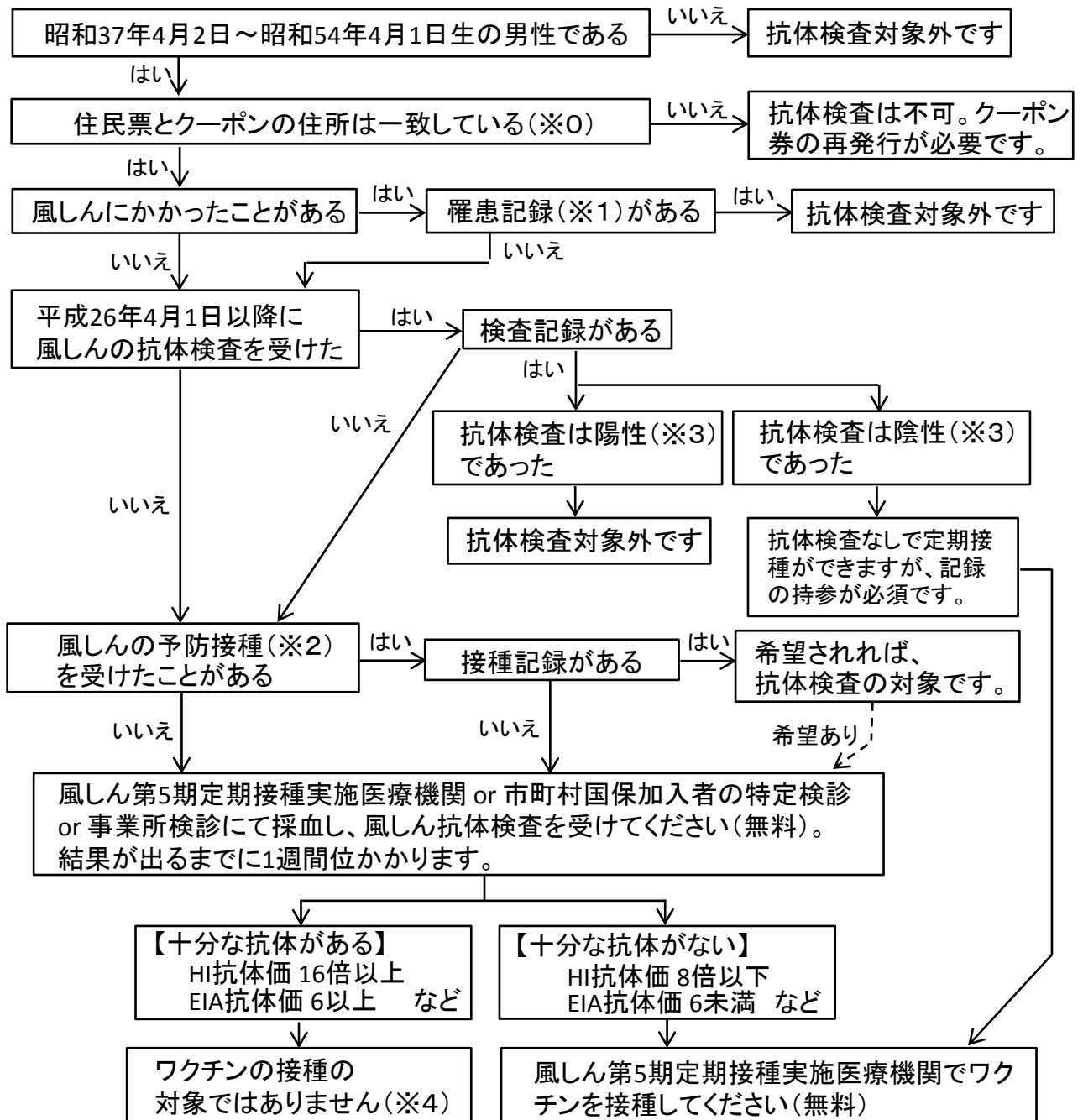
	27日 (土)	28日 (日)	29日 (月)	30日 (火)	1日 (水)	2日 (木)	3日 (金)	4日 (土)	5日 (日)	6日 (月)	7日 (火)	8日 (水)
午前診	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○
夕方診	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

5月・担当医の変更

18日(土) 片桐→赤澤

23日(木)～30日(木) 赤澤→片桐

住民票が堺市以外の方が堺市で受診されるか、堺市の方が堺市外で受診される場合(クーポン券が必要)



※0. 2019年には昭和47年4月2日～昭和54年4月1日の男性にクーポン券が発送されます。昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生の男性には2020年以降、年度ごとに順次クーポン券が送付される予定です。住民票の市町村に希望すれば、それ以前に抗体検査のクーポン券を発行してもらえます。受診などの際は、免許証やマイナンバーカードなど本人確認書類をご用意ください。

※1. ウイルス遺伝子検査(PCR法)による風しんウイルス遺伝子の検出、ウイルス分離・同定による風しんウイルスの検出、風しん抗体の検出(IgM抗体の検出、ペア血清での抗体陽転又は抗体価の有意な上昇)。

※2. 風しんの予防接種とは、風しんワクチン、麻しん・風しん混合ワクチン(MR)、麻しん・風しん・おたふくかぜワクチン(MMR)のいずれかのワクチンをいいます。

※3. 抗体検査結果が陰性であるとは、「定期接種の対象となる予定の風しん抗体価」を満たすものをいいます。HI法で8倍以下、EIA法で6.0(EIA価)未満、EIA法で15(国際単位IU/mL)未満など。

※4. 堺市在住の方で、先天性風しん症候群対策事業の基準に合えば、同事業の堺市契約医療機関で検査結果を提示して、MRワクチンを任意接種として1,000円で受けられる可能性があります。